土木学会賞決まる

功績賞に小西、仁杉、野瀬氏

土木学会（久保慶三郎会長）は、二十三日開いた理事会で六十一年度の土木学会賞受賞者を決めた。同賞は七部門からなり、功績賞には、小西一郎、仁杉巌、野瀬正儀の三氏が受賞、技術賞は「横浜市北部第二下水処理場汚泥消化タンクの建設――PC卵形汚泥消化タンクの設計・施工」（横浜市下水道局）など西業績、論文賞は「液状化による地盤の永久変位に関する研究」（浜田政則東海大学教授ほか三氏共同研究）など三業績、吉田賞は「マスコンクリートの温度応力制御に関する研究」（田辺忠顕名古屋大学教授）など西業績、田中賞は「静的荷重作用下にある鋼橋の溶接による補修・補強」（堀川浩甫大阪大学助教授ほか一氏共同研究）など六業績、技術開発賞は「海洋調査における情報処理システムの高度化」（古川圭三大成建設技術本部技術開発部主任）など三業績が、それぞれ晴れの受賞に輝いた。表彰式は、五月二十八日に開く通常総会（東京・九段の私学会館）の席上行われる。

小西一郎氏

仁杉　巌氏

野瀬正儀氏

技術賞にはPC卵形汚泥消化タンクなど

六十一年度の土木学会賞の部門別業績・受賞者は次の通り。

【功績賞】▽小西一郎（京都大学名誉教授）▽仁杉巌（西武鉄道副社長）▽野瀬正儀（日本ダム会議会長、新日本技術コンサルタント会長）

【技術賞】▽「横浜市北部第二下水処理場汚泥消化タンクの建設――PC卵形汚泥消化タンクの設計・施工」（横浜市下水道局）▽「大門ダム・貯水池内の大規模火山性堆積物に対する遮水壁の設計・施工」（山梨県土木部）▽「平野川街路下関節池（木津川平野線）建設事業」（大阪府土木部、大阪市土木局）▽「沖縄県における海外炭利用の石川石炭火力発電所の建設」（電源開発）

【論文賞】▽「液状化による地盤の永久変位に関する研究」（浜田政則東海大教授、安田九州工大助教授、磯山龍二日本技術開発地震防災室課長、恵本克利東海大講師）▽「沖積地河川の河道形状に関する研究」（池田駿介埼玉大助教授）▽「分担需要変動型平均衡交通需要予測法と最適バス輸送計画策定法の開発」（河上省吾名大教授、湯上章志名大助手）

【論文奨励賞】▽「クラック不安定発生の力学・残留ひずみの影響」（堀井秀之東大助教授）▽「降雨成層水域内の波浪工学への序説」（合田良実港湾技術研究所主任、岡村甫東大教授）▽「ひずみ速度を考慮した鉄筋コンクリート部材の動的非線形地震応答解析」（睦好宏史埼玉大助教授、町田篤彦埼玉大教授、鶴田和久副所長、横沢和夫前田建設工業技術研究所主任、岡村甫東大教授）▽「ひずみ速度を考慮した鉄筋コンクリート部材の動的非線形地震応答解析」（睦好宏史埼玉大助教授、町田篤彦埼玉大教授、鶴田和久首都高速道路公団道路線建設局設計課）▽「[illegible]」（岡本享久東工大助手、長瀬重義東工大教授）

【田中賞】

（論文部門）▽「静的荷重作用下にある鋼橋の溶接による補修・補強」（堀川浩甫大阪大助教授、鈴木博之大阪大助手）▽「道路橋鉄筋コンクリート床版のひびわれ損傷と劣化度判定に関する研究」（松井繁之大阪大助教授）

（作品部門）▽「岡谷高架橋（長大橋梁・道路橋）」（日本道路公団）▽「かつしかハーブ橋（同・同）」（首都高速道路公団）▽「黄金峡橋（中小橋梁・同）」（名古屋高速道路公社）▽「ふれあい橋」（特殊橋梁・歩道橋）

【技術開発賞】▽「海洋調査における情報処理システムの高度化」（神崎正大成建設技術本部技術開発部課長代理、古川圭三大成建設技術本部技術開発部主任、甲斐源太郎海洋科学技術センター海洋開発研究部主幹）▽「急カーブ掘進用シールド機械の開発」（杉正東京電力技術研究所構造研究室長、桑原洋同副室長、原田光男同研究室、大塚隆三郎石川島播磨重工油機・シールド事業部シールド部課長、皿田進川崎重工プラント事業本部土木プラント総括部課長）▽「アーム式水中掘削機の開発」（内藤誠一首都高速道路公団第二建設部技術次長、倉林稔同横浜港横断橋工事事務所長、相沢林作建設機械化研究所副技師長、富高康雄B－22－1工区鹿島・大林・東亜JV所長、篤尾木健司B－22－2工区大成・前田・清水JV所長）

【著作賞】▽「港湾構造物の耐波設計～波浪工学への序説」（合田良実）▽「土質力学～講義と演習（全改訂）」（山口恒樹）▽「物語日本の土木史～大地を築いた男たち」（喜多義三）▽「湖水誕生（上・下）」（曽野綾子）。